

肢体不自由特別支援学校 高等部「一般学級」の世界史Aの授業 「子供の権利条約と障がい者権利条約」

埼玉県立和光特別支援学校 高等部 土田謙次
2014 (H26) 年7月30日作成

第1部 はじめに (自己紹介・学校紹介)

・私は、16年間中学校社会科の教師を勤めた後、肢体不自由養護学校2校に9年間、知的障害養護学校も2校に9年勤務し、現在は再び肢体不自由校に勤務している。



・和光特別支援学校のある和光市は、埼玉県の南東部にあり、人口7万人で、東京都板橋区・練馬区に隣接している。学区は和光市の他9市1町に及び、生徒数は小学部から高等部まで150名、職員数も140名という大規模校である。

・その中で、私が今年度所属している高3は、生徒13人、教員11人という集団である。

第2部

1、テーマ設定の理由

・今回レポートを書いたのは5回目である。1回目は「沖縄と長崎の修学旅行での平和学習」、2回目は「長崎の修学旅行の事前学習での社会科的内容の学習」と、行事やその事前学習における社会科的内容の学習であった。3回目は「知的障がい児校の日常的な課題別学習における社会科的内容の学習」をテーマにした。4回目は土田が千葉大会の現地見学で学んだことを生かして「関東大震災での朝鮮人虐殺を障害の重い子にどう教えるか」というテーマを設定した。そして今回は、以下のような理由によってテーマを設定した。

今年度私は初めて、和光特支の高等部の一般学級の世界史の授業を担当することになった。和光特支に赴任以来、というよりも中学校から養護学校に移動して以来、比較的重度の生徒の担任をしてきた私にとって、久しぶりに本格的な社会科の授業であった。しかもこの一般学級の生徒5人(1年~3年の複式?)の中に、大学等を受験する生徒がいないことと、授業時数が週1時間のみであることから、受験勉強を意識せずに、土田の問題意識に従ってテーマ設定した授業をする機会に恵まれたのである。そういう条件の中で、車いすの生徒たちがこれから学校を卒業して社会に出ていく時に、色々な問題に直面するであろうことが予測されるので、その時の有力な武器になるであろう「子供の権利条約」と「障がい者権利条約」を取り上げて、授業をすることにした。

2、「子供の権利条約と障がい者権利条約」の授業

(1) 私が担当する高等部の一般学級の概要と生徒の実態

生徒は5人で1クラス。男子4人、女子1人。生徒の障害の状態と学力等は以下のようなものである。

	性別	学年	障害の状態	類型	学力	備考
A君	男	1年	脳性まひ。電動車いす使用	Ⅱ	中1程度?	
B君	男	2年	脳性まひ。独歩ができる。	Ⅱ	中3程度?	
Cさん	女	2年	脳性まひ。電動車いす使用	Ⅱ	中2程度?	
D君	男	3年	酸素療法をしている。電動車いす使用	Ⅱ	高1程度?	
E君	男	3年	筋ジス。電動車いす使用	I	高3程度?	

(2) 土田が考えた (=まだ実施していない) 授業

①年間指導計画

年間のねらい
①世界の歴史的事象に対する関心を高め、それらが自分たちの現在の暮らしとつながっていることを理解させる。
②名もなき民衆も含めた、歴史上の人物の生き方について、自分の生き方に置き換えて考えることによって、歴史の主人公が一人一人の国民であることに気づかせ、歴史を主体的に学ぶ態度を育てる。

	月	単元名および学習内容	指導の反省
一 学 期	4	*地理・歴史の基礎的な事項を復習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地理・歴史の基礎的な事項を復習する意味で、プリント学習を宿題としたが、答合わせ等に時間が取れなかった。→時間があれば、随時繰り返し復習を行いたい。 ・「①世界の三大宗教の起こりと広がり」については、MT側で色々な資料をスライドにして見せたが、テスト前に復習するのに、生徒の手元に残る資料プリント等がなかったので、テスト前にプリントを配布した。 ・「②市民革命と私たち」については、教科書を読んで穴埋めのプリントを使用した。時間の割にその量が多くなってしまった。→2学期は適度な量にしよう。 ・①②ともに計画では3時間扱いであったが、内容を欲張ってしまい5時間ずつかかってしまった。→2学期はもう少し指導内容をコンパクトにまとめたい。 ・評価項目の「思考・判断」の力をつける学習内容、適正に評価する課題・テストが不十分だった。→2学期は心掛けたい。
	5	①世界の三大宗教の起こりと	
	6	広がり	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の三大宗教と現在の日本とのつながりを知る。 ②市民革命と私たち ・欧米の市民革命と現在の日本とのつながりや課題を知る。 	
二 学 期	9	③ロシア革命と私たち	
	10	・ロシア革命と現在の日本とのつながりや課題を知る。	
	11	④パレスチナ問題と私たち	
	12	・パレスチナの歴史を理解し、問題の解決のために何が	
		できるかを考える。	
		⑤沖縄の歴史	
	・沖縄の歴史を理解し、今の私たちの課題を考える。		
	⑥アフリカの歴史		
	・アフリカ=未開の国々ではないことを理解させる。		

三 学 期	1	⑦ラテンアメリカの歴史 ・かつて優れた文明があったことを理解させる。	
	2	⑧アジアの歴史	
	3	⑨子どもの権利条約と障害者権利条約 ・自分たちに身近な条約として、この2つの条約の重要性を理解させる。	

②本単元（子供の権利条約と障がい者権利条約）の授業計画（3時間扱い）

	学習内容	生徒の活動	主な資料
1時間目	子どもの権利条約の内容と世界の子供たちの現状 ①子ども兵士 ②飢えや貧困の問題 ③児童労働の問題 ④ストリートチルドレン	子ども兵士の写真を見て気づくことは？ どうして行ったらよいと思うか？ 子どもの権利条約の内容を学習する。 以下、写真を見て知っていることを発表する。	子ども兵士の写真 YouTubeの動画 子どもの権利条約 *詳しくは 指導略案 参照
2時間目	日本の子供たちの現状と障がい者権利条約 ①子どもの貧困率の上昇 ②児童虐待 ③いじめ	日本の子供たちを取り巻く問題を考え、発表する。 どうして行ったらよいと思うか？	新聞切抜き 障がい者権利条約
3時間目	障がい者権利条約を日本で生かすための課題や問題点 ①障害者への虐待 ②法定雇用率の未達成	①障がい者基本法②障がい者差別解消法について学習する。 自分が「差別された!」「頭にきた」という事例は？ どうして行ったらよいと思うか？	①障がい者基本法②障がい者差別解消法 YouTubeの動画 新聞切抜き

(3) 自分なりに工夫した点

- ・パワーポイント教材の中で、動画や音楽等を沢山入れ、興味・関心を持ちやすいようにした。
- ・YouTubeの動画から、教材になるものを探して入れてみた。
- ・今、現実に起きている問題として、身近に感じてもらうために、新聞記事を多く提示した。
- ・教科書を使用していない分、生徒が「ただ話を聞いただけ…」にならないように、まとめのプリントを作り、ポイントを押さえた。

(4) 今後の課題・分科会で伺いたいこと。

A、私の授業についてのご意見

①展開の仕方は？

◎自分で課題だと認識しているところ

・つい、色々を資料を欲張ってしまい、終わらなくなる。→どの教材はカットしてもいいか？

②私が使ったもの以外に、良い映像資料等はないか？

B、肢体不自由校における一般学級の授業時数の確保の仕方について

・但し、スクールバスの2便制は、物理的・財政的に難しい。

（*特設教育 Ⅱ* *知的障害、肢体不自由 Ⅱ*
下学年対応 Ⅱ *自由行動 Ⅱ* *生活 Ⅱ*）

C、「2期制」をとっている学校の様子について

*本校では、来年度から「2期制」が実施されます。

*導入を強引に進めた管理職は、さかんに「評価が1回減る分職員の仕事が減る」と言っていました。